

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 2 月 14 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270800271		
法人名	医療法人社団 壮志会		
事業所名	グループホーム らくらく		
所在地	長崎県松浦市御厨町里免 397		
自己評価作成日	平成 23 年 11 月 30 日	評価結果市町受理日	平成 24 年 2 月 24 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所所 1 階
訪問調査日	平成 24 年 1 月 30 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

施設内が清潔で家庭的な雰囲気 母体が病院なので医療との連携がとれている 週 3 回の入浴 一人ひとりに合った支援
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当該ホームの立地している所は一方は国道、もう一方は線路に面しており、立地要件を閉鎖的と捉えず、ベランダを造り、庭に自由に出て花や野菜の手入れができるように工夫している。また2階の居室へ導く緩やかな階段は機能低下を防ぐ役目を担っている。

この工夫と見守りの中で自分のしたいように出来る支援がなされており、ワンルームに配置されている台所から居間に至る空間は、見通しが良い。また、利用者によってはベッドも居間に移動して、居室にひとり残されているという感じを与えない配慮がなされていた。入院中の入居者が帰る日が食後の話題にされ、職員、入居者との繋がりが家族のように保たれており、理念どおりのゆったり、自由に、ありのままに過せる楽しい空間を作り上げていることを入居者の表情から感じ取ることができた。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>ゆったり、楽しく、自由に、ありのままにを基に地域の方々と触れ合いながら生活をしている。長く入居されている方の身体のレベル低下に伴い難しくなってきた</p>	<p>地域の中で、楽しく人々と触れ合いながら、本人の能力を活かせるように職員、入居者、家族とともに支えあいながら理念を頭に置いた支援がなされている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>時々買物に出られるが、日常的な交流は少ない。行事等に参加して地域の方々と触れ合い交流している</p>	<p>地域の祭り、蛇踊り、餅まきは恒例の参加行事であり、町民文化祭には入居者の習字作品を出品し高評を得た。町の方々とふれあいの場として受け入れられている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>尋ねられると答えている。行事等でホームをオープン化し地域の方が気軽に入りやすいようにしているが、なかなか来所が難しい</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現状報告などが多い、行事参加に対し場所提供をお願いしたり、災害時の避難場所を尋ねたりしている</p>	<p>2カ月に1回定期的開催されている。市の福祉課からも担当が参加され、行事計画の説明、アドバイスや協力を求め、運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>今年は入居者の家族の方が市の担当の方なので、いろいろ訪ねたりしている</p>	<p>運営推進会議への出席のほか、市主催の居宅介護支援協議会等の会議には事業所から働きかけて、2カ月に1回職員はローテーションを組んで参加している。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は行わないと全職員認識しているが、立地条件で玄関の施錠は必要である。入居者が外出を希望された時はいつでも職員が付き添い外出できるようにしている</p>	<p>玄関の鍵の施錠については、立地上の理由から安心安全の為にやむをえない措置をとっているが、閉じ込めることにならないように職員が気配りしながら対応しているが、苦悩の対応である。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体への虐待は無いが、言葉使いが感情的になる時がある</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者が研修会に参加し、他職員に勉強会で報告し、資料を配った。必要な方に活用し支援できるようにしていきたい</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の際に説明を行っている。不安・疑問点を伺い理解納得していただいている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しているが入ったことがない。面会に来られた時等に要望とかないかお尋ねしている</p>	<p>アンケートを実施して集計もなされているが、職員はもっと細かい、気付きに繋がる意見を聴きたいとの思いを抱いている。</p>	<p>職員は「こうしてあげたいと思っている」、それを実施に繋げるための具体的な項目別にアンケートを実施することにより、さらに納得できる支援につなげられることに期待したい。</p>
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>入居者の安全面等で経営者をお願いしたりしている</p>	<p>管理者や職員同士の意見は出しやすく活発に交わされている。サービス担当者会議も全員参加で行い、角度の違う意見も尊重し皆で検討し業務に反映している。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>母体の病院受診の際の対応などで、把握されている。定年後も1年更新での採用もされている</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>人員が少なく、研修も必要な物に限られる。近くである場合は参加するよう努めている</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>他事業者とのネットワーク・交流はあまりない</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居されてすぐは不安でいっぱいだと思うので、コミュニケーションを大切にしているその後はいつでも会話できその中で信頼関係が出来ていると思う</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所される時にお聞きし、その後も面会のときなどにお聞きしている。電話で話したり、手紙の場合もあり関係づくりに努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時のお話や、以前の生活の場所での情報やサマリーをまとめ暫定プランで対応している</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>長年一緒にいるので家族の様な感覚になっている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会に来られた時は一緒にお茶を飲んだりしてお話をし、ご家族ができることはご家族にお願いしたりして共に支えていく関係を築いている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>散歩に出た時等本人馴染みの場所に行き話をさたり、行事等にも参加している。教会の神父様が来て下さったりしている。</p>	<p>神父様とシスターが2ヶ月毎に信者である入居者を訪ねて下さり、一緒に過される。機能低下で外出が出来ない方もあるが、暖かい日は散歩途中の買い物に自分で支払いをするなど、習慣を尊重した支援がなされている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士が仲良く、フロアで過ごされる方が多い。外庭を歩いたり、時には一緒にお風呂に入ったりされることもある。常にトラブルが起きないように配慮はしている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も連絡をとったりしている。関係施設・機関とも連絡を取り合っている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>お話し希望や意向をお聞きしている。困難な場合みんなて話し合い検討している</p>	<p>掲示写真にコメントの言葉を求める為に一人一人に根気よく工夫した言葉かけがされている。無理強いやせず、時間をかけて接する支援がなされている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時の基本情報や家族の方にお聞きしたりしている。本人さんとの会話の中で把握に努めている</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>1日の気づき等を申し送りノートに書き職員全員で把握に努めている</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>全職員のいろんな角度からの意見を反映し、月1回サービス担当者会議を開き、プラン検討を行っている</p>	<p>月1回のケアプラン見直し会議は全員参加で行われている。利用者の変化や職員の気づきをうまくかみ合せ意見を出し合い、同じ場で一つのことを共有することを大切にされた支援を実施している。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りノートを通して日々の様子を把握している。変化があれば、モニタリングを行いプランの見直しをしている</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりのニーズに対応してプランを立てている</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事参加の時など場所を確保して下さったり、餅巻きの餅を用意して下さったりしている</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が病院なので3ヶ月毎の検診や週1回の訪問看護で把握している。眼科など専門医が無く遠くの病院に行くには難しい</p>	<p>母体の病院が指呼の距離にあることは入居者、家族、職員の安心に繋がっている。眼科受診は近くにないため家族の対応をお願いしているが、歯科は訪問診療がある。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週一回訪問看護に来られるので、その時に相談したり病院に連絡し支援している</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>洗濯物を取りに行ったりし安心して頂いている。退院後の過ごし方や受診など助言頂いている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化・終末期は家族や病院との話し合いで支援している</p>	<p>看取りの指針はあり、家族とも話はしているが、母体病院が近いこともあり、家族は病院に安心を求められており、現在看取りに付いての同意には至っていない。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルがあり、母体が病院なのですぐに連絡し受診・往診他指示をもらっている。定期的な訓練はしていない</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は年2回行っており消防団の方々が施設見学に来られた</p>	<p>夜間想定避難訓練は入居者も参加で行っている。また、警報システムには職員などの他に御近所の男手も範疇に入れて構成されており、2階居室からの脱出路も新たに計画中である。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し言葉かけ等に気がけて対応している	補聴器をはずすと殆ど耳の聞こえない方への入浴中の対話で、つい声が大きくなってしまいが、ジェスチャーで伝えるなど、職員も反省しながら工夫して支援に努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に合わせた話しかけて自己決定ができるよう提案や導きを行っている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の決まりはあるが、食事の時間など眠っている方などは遅れて食べたりされている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの服を選んで頂いたりしている。自分で出来ない方には支援アドバイスをしている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞いたりし出来る方には準備片付けを手伝って頂いている	配膳、下膳も自分でされテーブル拭き・お盆の片の付けなどは自分の仕事と認識されている。時にはベランダで栽培した野菜も食膳に上がる。百歳の利用者も同じテーブルでゆっくり咀嚼しながら食事を楽しんでいた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせてミキサー食や副食を刻みにしたりして支援している。個人で牛乳などを飲んでおられる方もいる		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>出来る方は洗面所で行って頂き出来ない方は職員が洗浄し口の中の確認をしている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表にて周期がわかり、失敗が少なくなるよう声かけをしている</p>	<p>自立の方が多く尿漏れ対応の布パンツ使用であり、パットを併用の方もある。また、夜間用にポータブルトイレを持参されている方もある。ベッドや車椅子の方は紙オムツ使用だがその方のパターンにあわせた支援がなされている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>運動は難しく牛乳や納豆を食べられている方もおられる。下剤や座薬を使用している方もおられる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週3回と2回の方がおられる。入りたくない場合無理強いしない。二人で入られている方もおられる</p>	<p>入浴の際の声かけは、相手の心理を読みタイミングを計った誘導がなされ、入居者同士一緒に入浴されることもある。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>眠いときはベッドで休まれたり、ソファに横になれる方もおられる。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の説明書で理解している。全員で薬の発注・毎日の薬のセットを行っているため薬に対して意識があり変化などあると話し合っている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>自主的に廊下を掃除されたり、お盆を拭いたりされている。宅配の牛乳を取られている方もおられる。陶芸や習字を楽しみにされている方もおられる</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近所に買物に出かけたり、散歩に行ったりされる。ドライブなど家族の参加協力もある</p>	<p>年4回は近くのグループ施設の行事に参加する。他に温泉、外食、花見、初詣など季節ごとの外出がある。退職した職員の介助支援ボランティアも時々ある。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ある程度のお金は施設金庫で預かっているが、小銭を持たれている方もおられ、希望時は買物に出かけたり頼まれたりする</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望された方は電話をかけたなり、携帯を持たれている方もおられる。年賀状・暑中見舞いを出したりされている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関・居間・食堂等花などを飾って季節を感じて頂いている。裏庭には野菜を植え収穫を楽しまれている</p>	<p>台所、食堂、居間、ベランダと入居者の集う場所はワンルームとなっており、居室の2階へも動きやすい。2階洗面所には洗濯機も設置されており、自分で洗濯する習慣の維持など普段の生活に活かされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファで横になったりバルコニーに出て新聞を読んだり、庭を歩かたいしている</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	亡くなられたご主人の写真を仏壇のように飾られている方、自分で作った皿などを置かれている方もおられる	居室は明るく、開設以来の入居者で100歳の利用者は居室に知事や市長からの祝いの額が飾られている。また年間行事表を張った方もある。床にはあまり荷物を置かず、足元の危険に配慮された配置である。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室は2階が多く階段は段差が低く上り下りがし易くなっており、リハビリを兼ねている		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない